

放課後等デイサービス 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和6年 9月 30日

事業所名:通所支援事業所山の家

保護者等数(世帯数)17 回収数7 割合 42%

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	1			学童併設ということもあり、スペース的に個別対応がしづらくなっている。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	5	1	1		・利用児童の特性とその対処法の周知が不十分な時がある。 ・職員の入替があっても知らされない。だれにどう療育を受けているのかわからない。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6			1	
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか	6	1			
	5 日々の支援内容が固定化しないよう工夫されているか	6	1			
	6 学童保育や児童館との交流や活動する機会があるか	5	1		1	人との関わりが苦手なので無理な交流は控えてもらっていると思う。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7				支援計画のおおまかなもののみ。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	5	2			
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5	2			
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	1	2		・保護者会がない。放デイの利用者がどなたなのかわからない。 ・保護者同士の連携はないですが、機会があれば情報交換などしたいです。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	1	1	1	・現状を変えないの一点張り。よりよいものに変えていこうという工夫や考えが見られない。 ・子どもが困ったり、行き違い等で感情処理が追いつかない時のフォローが時間的、スペース的な余裕のなさからか、十分でないと感じることがある。 保護者からの相談の対応は迅速です。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5	2			
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	5		1	1	・評価の結果の発信がない。活動概要や行事予定の見通しが無い。
非常時等の対応	14 個人情報に十分注意しているか	7				・十分に注意されすぎていて利用者の氏名すらわからない。
	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	3	1	1	2	・防犯マニュアルは不明。 ・説明を受けたか覚えていない。 ・感染症マニュアルが思い出せない。学級閉鎖の対応はわかる。
満足度	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6		1		・1回だけは把握している。
	17 子どもは通所を楽しみにしているか	5	2			・もっと多くの人と関わりたいと思っている。時間や日数も含めて。 ・今時期的なもの(運動会練習で疲れすぎ)や行き違いのためいき洪りがあります。
	18 事業所の支援に満足しているか	5	1	1		・「学童優先」という事業所の方針は障害者施設に対して優劣をつけている。改めてほしい。 ・いつも子どもに寄り添ってくださり、居場所作りをしていただき、感謝している ・学童利用児として全体的な支援をうけてはいるが、山の家利用児が学童内で一緒に過ごす際に、どこまで個別支援の仕方が周知され、配慮されているか心配になる点がある。

この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所評価を行っていただき、その結果を集計したものです。